

この人に聞きたい インタビューコーナー

男女共同参画審議会委員であり、二月十八日に行われた男女共同参画フォーラムの実行委員長を務められた池田豊さんにお話を伺いました。



池田 豊 さん

質問一 薩摩川内市男女共同参画審議会委員に応募されたきっかけは何ですか？

公務員を退職して、郷里に帰り、3年位前に、自治会長をやって、地域の実態が分かった時、何とかしなければいけないのではないかなと思いました。というのは、自治公民館長が決まると、その奥さんは自動的に飲食の準備係にされ、

奥さんの都合も聞かずに、一方的に仕事を押し付けているのは、はつきりした女性差別であると思いました。こういったしきたりにとらわれて、良いやりかたに変えようという傾向がありました。

このような時に、鹿児島県男女共同参画推進条例ができているのに気がつき、県の係の方々にいろいろと教えてもらい、講座にも参加しました。男女共同参画推進条例は、地域の問題を解決するためのものでもあるということが分かりました。薩摩川内市となつて、早速、議会で男女共同参画基本条例が承認されました。この条例を生かすために、自分もできるだけのことはやってみたい、勉強してみたいと思い、審議会委員に応募しました。

質問二 男女共同参画にかかわって、地域や家庭で変化がありましたか？

地域では、目立つような変化は、まだあまりないように思いますが、話題にすると、大事なこととして、考えてくださるようで、「男も料理ができるようになっていたほうがいいね。」などと言われます。フォーラムの案内をして回った時には、多くの方々が関心を示してくださいました。今からが大事だと思います。

家庭では、自分が退職した時、妻は勤めていたので、代わって料理をするようになったのが変化の始まりかなと思います。だんだんていねいな言葉使いにもなってきたように思います。

質問三 フォーラムの実行委員長を終えての感想は？

「何かできそうながあったら、お手伝いしますよ。」というような気持ちで実行委員になりましたので、「実行委員長になってほしい。」と言われた時はびっくりしました。経験がないので不安でしたが、周りの方々が支えてくださるということばを頼りに引き受けました。終わってみて、みな

さんの温かい力のすばらしさを感じ、たくさん勉強ができて、次へ進むエネルギーを得たような気がします。いろいろな形で参加してくださった皆さんに感謝致します。

フォーラムのワークショップの時、「奥さんに愛していると言っている方？」の問いに、元氣よく挙手をされた池田さん、こんな男性大歓迎です。

この情報誌に関するご意見、ご感想、取り上げて欲しいことなどありましたら、下記までご連絡ください。

編集 男女共同参画情報誌「とらいあんぐる」編集委員
発行 〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号
薩摩川内市役所 企画政策部 企画政策課
男女共同参画係
TEL 23-5111(内線4841) FAX 20-5570
Eメール：gender@satsumasendai.jp